

平成26年 第4回定例会

12月15日から19日まで開催

追加

7千円!!を

12月定例会のポイント

※報告	1件
※条例一部改正の専決処分報告(承認)	1件
※予算の専決処分報告(承認)	5件
※広域連合規約の変更	1件
※条例の制定	3件
※条例の一部改正	5件
※一般会計等の補正予算	6件
※請願及び陳情の審査	7件
※関係機関への意見書提出	6件
※特別委員会の設置	1件

億7919万7千円になりました。

専決処分

15億9430万4千円

衆議院議員選挙費用

665万7千円

災害関連

15億8764万7千円

通常の12月定例会は、人事院勧告に伴う条例改正や補正予算が主なものです。今年、補正予算の専決処分報告が多く提出されました。これは11月21日に解散し、12月14日投票となった衆議院議員選挙の必要経費や、11月22日に発生した神城断層地震に伴う緊急措置に関する補正について、緊急的であり、議会を招集する時間がなかったため、村長が専決処分を行ったものです。

なお、今定例会では15億8764万7千円の災害関連補正予算が専決されましたが、最終日に補正予算が追加提案され、災害関連の補正予算は17

水事業特別会計では、2322万円。水道事業会計では1億1816万円。

会期5日間に短縮

今定例会は、災害対策本部も継続中であり、災害復旧について膨大な事務量を迅速に処理する必要もあったため、会期を短縮し、12月15日から19日までの5日間と設定して行いました。また、一般質問は1名とし、震災関連の質問に絞って質問をすることになりました。

震災復興特別委員会の設置

震災復興について、常任委員会を超えて調査検討することが好ましいという結論に至り、議員の発議により最終日に決議致しました。

●承認第9号 白馬村特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部を改正する条例の専決処分報告

【太田伸子】
問 学校給食施設検討委員会の設立時期、委員の選出方法、人数は。

観光地経営計画策定委員のワーキンググループメンバーの選出方法と人数は。

答

【松沢教育課長】
学校給食施設検討委員会は概ね15名で、学識経験者、保護者の代表者、学校関係者、公募による者、村長が必要と認める者等を考えていましたが、公募委員がありませんでした。人員を検討し、1月中には検討会議を開催したいと思っています。

【篠崎観光課長】

ワーキンググループに関する設置要綱のなか35名以内で組織すると決めています。公募委員は5名、策定委員会の委員長が必要と認める者については、観光事業者のほか、年齢、男女別、国内外の、外国人を含めた居住者等29名で合計34名です。



急ピッチで建設された仮設住宅